

## 滋賀県地方部会史

### 沿革

滋賀県に耳鼻咽喉科専門医が赴任したのは大正の初めで、大正 7 年に大津赤十字病院に着任した細田忠四郎は、以後 40 数年間にわたって滋賀県の耳鼻咽喉科医の中心的存在となって活躍した。滋賀県の耳鼻咽喉科医会は細田忠四郎と大西輝彦の 2 名の発起によって昭和 11 年 6 月 21 日に誕生し、当時の会員数は 13 名である。同年 10 月には第 10 回耳鼻咽喉科臨床会総会ならびに講演会が大津赤十字病院で開催されている。終戦前後の 3 年間は医会を閉鎖したが、昭和 23 年 3 月 21 日に再編成され、昭和 27 年 6 月には第 10 回近畿耳鼻咽喉科学会が大津市公民館で開催された。

昭和 39 年、日本耳鼻咽喉科学会が各府県単位に支部を置くことになった。昭和 49 年にこの支部制度が地方部会と改組されるに伴い、老齢のため辞任した細田忠四郎に代わって、北村保三が日耳鼻滋賀県支部長と医会の会長に、貝塚侑が副会長に就任し、地方部会規則を定めた。翌昭和 50 年度より、日本耳鼻咽喉科学会滋賀県地方部会、滋賀県耳鼻咽喉科医会として、現在まで地方部会と医会は表裏一体となって活動している。地方部会発足時の会員数は 31 名である。

昭和 49 年には守山市の仮校舎に滋賀医科大学が開学し、昭和 50 年に大津市と草津市の南側に広がる丘陵地帯に大学と附属病院が建設された。昭和 53 年 4 月には耳鼻咽喉科学講座が開設され、教授として北原正章、助教授として齋藤春雄、講師として北嶋和智が着任し、10 月から診療が開始された。昭和 54 年 4 月には北原教授が第 2 代地方部会長になり、以後は歴代の滋賀医科大学教授が地方部会長に就任している。平成 6 年には北原教授の定年退官に伴い、北嶋和智が第 3 代地方部会長に、平成 16 年には北嶋教授のご逝去に伴い、清水猛史が第 4 代地方部会長となって現在に至る。

### 歴代会長



北村保三



北原正章



北嶋和智



清水猛史

初代会長 北村保三（大津市にて開業）昭和 50 年就任

- 2 代会長 北原正章（初代滋賀医科大学耳鼻咽喉科教授）昭和 54 年就任
- 3 代会長 北嶋和智（2 代滋賀医科大学耳鼻咽喉科教授）平成 6 年就任
- 4 代会長 清水猛史（3 代滋賀医科大学耳鼻咽喉科教授）平成 16 年就任

### 運営組織

滋賀県地方部会規則に従い、役員として、部会長 1 名、副部会長 1 名、理事若干名、監事 2 名、顧問を置き、任期は 2 年である。学会の機能、目的を達成するために次の各委員会を設置し活動している。保険医療委員会、学校保健委員会、医事問題委員会、福祉医療委員会、産業・環境保健委員会、専門医制度委員会の 6 委員会である。なお、平成 29 年度の日本耳鼻咽喉科学会代議員は、大脇成広、児玉章、清水猛史である。

### 日耳鼻滋賀県地方部会開催

日耳鼻滋賀県地方部会総会ならびに学術講演会を年 1 回（4 月）、滋賀県耳鼻咽喉科医会の総会と同時に開催している。また、京都府地方部会との合同学術講演会（日耳鼻京滋合同地方部会）を、京都大学、京都府立医科大学、京耳会との持ち回りで、年 3 回（3 月、6 月、12 月）開催している。

### 会誌・刊行物

北原教授時代に滋賀医科大学耳鼻咽喉科学教室誌（第 1 集～第 3 集）、北嶋教授時代に滋賀医科大学耳鼻咽喉科学教室医局だより（Vol. 1～Vol. 3）、清水教授になってからは、同門会誌「和」（第 1 号～第 5 号）を 2 年に 1 回刊行している。

### 会員数（平成 29 年 7 月現在 119 名）

昭和 11 年の医会発足時の会員数が 13 名、昭和 50 年の地方部会発足時が 31 名、昭和 54 年の滋賀医科大学耳鼻咽喉科学講座開設時が 35 名であった。その後、昭和 56 年に滋賀医科大学の最初の卒業生を迎えてから、若い人材が育つようになり、平成 6 年の北嶋教授就任時には 73 名、清水教授が着任した平成 16 年には 102 名になった。同じ平成 16 年に開始された卒後臨床研修の影響で、会員数は一旦減少したが、ここ数年は回復・増加傾向にあり、平成 29 年 7 月現在の会員数は 119 名である。

年度	昭和 11	昭和 50	54	56	58	60	62	平成 1	3
会員数	13	31	35	37	44	49	53	60	68

6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28
73	86	96	103	102	102	94	98	105	107	111	114

### 発会後の経過・現況

毎年4月に日耳鼻滋賀県地方部会総会ならびに学術講演会・滋賀県耳鼻咽喉科医会総会を開催し、事業ならびに会計に関する協議・報告を行うとともに、会員による一般口演、招聘講師による特別講演を行っている。毎年11月には滋賀県耳鼻咽喉科医会の学術講演会を後援し、2年に1回は補聴器相談医更新のための講習会を開催している。いずれも、新専門医制度における共通講習や耳鼻咽喉科領域講習を交えた学術講演会として、多くの先生が参加している。

### 資料

- 1) 貝塚侑：滋賀県耳鼻咽喉科の歴史. 耳鼻臨床 74 (増 5) : 2562-2592, 1981
- 2) 小澤富孝：北村保三先生の思い出. 滋賀医科大学耳鼻咽喉科学教室誌第3集 123-129, 1988